



国指定重要文化財

萬代橋周辺の景観とまちづくり

2023 6/24(土)

13:30-16:30 (受付開始13:00~)

会場 新潟市歴史博物館みなとびあセミナー室
新潟県新潟市中央区柳島町2-10

基調講演1

人間的空間をつくる萬代橋

大熊 孝(新潟大学名誉教授・河川工学)

基調講演2

まちなみ型のまちづくりと萬代橋

福川 裕一(NPO法人全国町並み保存連盟
理事長・千葉大学名誉教授)

シンポジウム

萬代橋周辺の景観と空間デザイン

大熊 孝

福川 裕一

高松 智子(総合色彩プロデューサー&デザイナー)

コーディネーター 大倉 宏(新潟まち遺産の会代表)

■ 参加費 500円(資料代) *新潟まち遺産の会会員は無料

■ 定員 50名

■ 申し込み 新潟まち遺産の会

電話

メール chanoma@machi-isan.sakura.ne.jp

主催 新潟まち遺産の会

新潟市は信濃川河岸付近に高層建築の建設が進んだ事態を受けて、2007年の景観計画策定に合わせ信濃川本川大橋下流沿岸地区を特別区域に指定し、50メートルの高さ制限を景観形成基準として位置づけました。背景には2005年新潟市の5つの市民団体と新潟市が共同で開催した「萬代橋景観フォーラム」とその結果としてまとめられた「萬代橋景観宣言」など、市民の水辺景観への関心の高まりがありました。

2023年2月新潟市景観審議会はこの特別区域の景観形成基準の一部修整を了承しました。

この修整により、萬代橋周辺の建築物は高さ100メートルの高層建築が、周辺にオープンスペースを設ける等の条件を満たせば建設可能となる見込みです。

水辺に接したオープンスペースの創出は好ましいことであり、修整には色彩制限をより厳しくするなど、景観への配慮も盛り込まれています。

しかし、民間事業者が行う多くの開発や建設行為の実態を考えると、日本中にあふれる「タワー建築」が萬代橋の近くに唐突にそびえたち、橋と周辺の景観に好ましいとは言えない変化が生まれる可能性も危惧されます。

今後、萬代橋周辺で考えられる、またありうべき変化のあり方について、景観を含めたいろいろな視点から改めて議論する必要があると考えます。

当会は昨年来「萬代橋の景観を考える」のテーマでリモートセミナーを5回開催してきましたが、今回は対面でこのテーマを考え、話し合う場を設けます。